



発行所
公益財団法人 漁船海難遭児育英会
〒101-0047 東京都千代田区
内神田1丁目2番1号
ISM Otemachi
電話 03 (3518) 6121
FAX 03 (3518) 6122
水色の羽根募金運動

2023年度 臨時（第3回）理事会

決議の省略により2023年度臨時（第3回）理事会を書面にて開催（7月31日）し、①辞任に伴う後任理事候補者（3名）の推薦、②事務局長の任免（任命）、③2023年度臨時（第2回）評議員会の招集の決定について提案し、理事全員が同意し、承認可決されました。

【新事務局長】

上野新治（就任日2023年7月31日）

2023年度 臨時（第2回）評議員会

決議の省略により2023年度臨時（第2回）評議員会を書面にて開催（8月14日）し、①辞任に伴う後任理事（3名）の選任について提案し、評議員全員が同意し、承認可決されました。

【新任者】芳名

▽理事
内田珠一氏（全国漁業協同組合連合会代表理事専務）
高木安四郎氏（全国水産加工業協同組合連合会代表理事専務）
喜田ヒサ子氏（全国漁協女性部連絡協議会会長）

◆今回をもって辞任された皆さまには、これまでのご尽力に改めて感謝申し上げます。

2023年度 臨時（第4回）理事会

決議の省略により2023年度臨時（第4回）理事会を書面にて開催（8月29日）し、辞任に伴う業務執行理事（専務理事）の選定について提案し、理事全員が同意し、承認可決されました。

【新任者】芳名

▽内田珠一氏（全国漁業協同組合連合会代表理事専務）
※就任日2023年9月1日



2023年度 第2回奨学生選考委員会

決議の省略により2023年度第2回奨学生選考委員会を書面にて開催し、「出願者（7月15日締切）の選考」について、選考委員全員の同意（7月27日付）を受け、この結果、高校生等1名、大学生等1名、計2名の採用が決定されました。

なお、新規奨学生を加えた9月末現在の奨学生数は、別表（最終頁記載）「都道府県別奨学生数」とおりです。

第42回全国豊かな海づくり大会



▲放流される天皇、皇后両陛下（代表撮影）

9月16日（土）、17日（日）と2日間、「守りぬく 光輝く 豊かな海」をテーマに第42回全国豊かな海づくり大会が天皇・皇后両陛下ご臨席のもと、北海道釧路市や厚岸町内で開催されました。北海道での開催は38年ぶり2度目となり、両陛下のご訪問は即位後初の来道となりました。

式典行事（17日）は厚岸漁港（屋根付き岸壁特設会場）にて盛大に行われ、天皇陛下は「この大会を契機として人々の海や漁業への理解と関心が深まり、豊かな海づくりの輪が全国へ、そして未来に大きく広がっていくことを願う」とお言葉を述べられました。

その後、功績団体への表彰や作文コンクール作品の朗読、次世代を担う若手漁業者他によるメッセージの発表などが行われ、稚魚等のお手渡しでは、両陛下より漁業関係者に対しホタテやマガキ、エゾバフンウニ、マナマコの稚魚を手渡されました。

式典終了後、野外会場で約10隻の漁船等によるパレード、放流行事では両陛下をはじめ参加者はマツカワとホッケイエビを放流しました。



▲お言葉を述べる天皇陛下（代表撮影）

本会においては、関連行事（16日のみ活動）「豊かな海づくりフェスタ2023」（釧路市観光国際交流センター広場・幸町緑地）「釧路会場にて、9月の北海道とは思えないほど暑い中、ボイススカウト北海道連盟釧路地区（コミッシヨナー・藤井秀俊様／副コミッシヨナー・高野みどり様）・ガールスカウト北海道第9団（事務局・細川清美様）・釧路海洋少年団（団長・由喜門三千彦様）と多くの皆さんにご協力いただき、汗びっしょりになりながら来場者へ募金を呼び掛けました。翌日の式典行事（17日）では北海道厚岸翔洋高等学校の生徒の皆さん10名とおもてなし広場にて活動をしました。コロナ感染症流行のため式典会場での募金活動は4年ぶりでしたが、多くの皆さまより温かいご支援・励ましをいただくことができました。

最後にご支援いただきました多くの皆さま、大会主催者はじめ募金活動にご協力いただきました皆さまに心より感謝申し上げます。

なお、次回大会は来年11月10日に第1回が開かれた大分県で43年ぶりに開催する予定になっています。詳しい情報は「第43回全国豊かな海づくり大会」おんせん県大分大会へ <https://yutakana-umidukuri.pref.oita.jp/> をご覧ください。

式典行事（厚岸漁港）



▲北海道厚岸翔洋高等学校の生徒さん

豊かな海づくりフェスタ 2023（釧路会場）



▲笑顔が素敵なガールスカウト（水産経済新聞社提供）

▲海洋少年団

▲可愛いボーイスカウト



第18回マリンカップ
海難遺児チャリティコンペ

7月22日(土)、津カントリー倶楽部(三重県津市)において「第18回マリンカップ 海難遺児チャリティコンペ」(主催・NPO法人朝香クラブ 代表・朝香誠彦理事長)が開催されました。

こちらのコンペは、ゴルフを通じて漁船海難遺児への育英資金を募ることを開催趣旨とし、参加費の一部を本会へ第1回より毎年ご寄附していただいております。

今年度も県内外よりゴルフ愛好家45組180名が参加され、思う

存分にプレーを楽しめました。

また、JF三重漁連・三重漁協女性部等の皆さまのご協力による郷土料理の実演や、夏休み子供企画としてスナックゴルフなど各種イベントも行われました。

コンペ終了後の表彰式で目録を受け取った本会上野事務局長は、「皆さま方のご趣旨に添い、海難遺児の育英事業のために活用させていただきます」と述べ、朝香理事長に感謝状を贈りました。

大会関係者はじめご協力いただきました多くの皆さまに心よりお礼申し上げます。

専務退任挨拶

檜垣 浩輔



2019年9月に就任して4年間、役員をはじめ関係する方々に支えられ、大過なく任務を終えることができましたことを厚くお礼申し上げます。

これまで育英会の事業をご支援いただいた多くの皆さまには、新型コロナウイルス感染症の流行による大変厳しい状況においても、毎年変わらぬご寄附および募金を

いただきました。心より感謝申し上げます。

漁船の海難事故は減少傾向にあります。2022年の海上保安庁統計によると446隻の事故が発生しています。遺児の数も減少しているとは言え、現在も200名近い奨学生が育英会の事業を必要としています。今後とも皆さまのご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。私もこれからは一人の励ましおじさんとして応援していきたいと思っています。

奨学生の皆さまには、勉学に励み、そして夢と希望を持って自身の人生を歩んで行かれますよう心より願っています。

専務就任挨拶

内田 珠一



この度、漁船海難遺児育英会の専務理事に就任いたしました内田

です。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

私は、1984年に全漁連に入会し、主に販売事業関係の業務に

携わってきましたが、2019年に専務、本年6月に専務に就任し、現在に至っております。

不幸にして遺児になられた方、またご家族、関係者の方々のお役に立てるように、長い間、多くの人々に支えられてきた思いを引き継ぎ、微力ながら努めて参ります。

関係各位におかれましては、引き続きましてのご支援、ご協力をお願い申し上げますとともに、ご指導ご鞭撻の程、心よりお願い致します。

2023年度JF共済
全国推進・表彰大会

7月12日(水)、帝国ホテル(東京都千代田区)にて「2023年度JF共済全国推進・表彰大会」(主催・全国共済水産業協同組合連合会 楠田勇二代表理事会長)が開催され、会場には全国からJF関係者等が集結しました。

この大会は2023年度からスタートした新3か年計画「浜の笑顔を共済とともに」に基づき、JF推進本部・JF共済連が、それぞれの役割に沿って、共済事業量目標達成に向けた施策と精神的に取り組む決意を確認するとともに、2022年度ならびに前3か年(2020年度・2021年度)にお



▲目録贈呈される朝香理事長(右)、本会上野局長(左)



▲贈呈式の様子

第31回漁船海難遺児育英造成
チャリティゴルフ大会

9月22日(金)、PGMゴルフリゾート沖縄(沖縄県国頭郡恩納村)において「第31回漁船海難遺児育英造成チャリティゴルフ大会」(主催・漁船海難遺児育英資金造成チャリティゴルフ大会実行委員会)が開催されました。

こちらのゴルフ大会は、海難等の事故により犠牲となった漁業者の子弟が将来社会に貢献できる人材に成長してくれることを願い、本会事業を支援する全国的な資金造成活動の一環および、県内の遺児に対する財政的支援を目的として、沖縄県漁協参事会が中心となり、各漁協・水産諸団体のご協力のもと毎年実施されております。

当日は約77組301名が参加され、早朝よりプレーを楽しまれました。プレー終了後の表彰式にてけるJF共済の加入推進に尽くしたJFの成果に対して他の模範として表彰することを目的に開催されております。

本会におきましては、大会主催者のご厚意のもと漁船海難遺児を励ます全国協議会(全協)にご協力いただき、会場ロビーにて募金活動を行いました。

ご支援、並びにご協力いただきました多くの皆さまに心より御礼申し上げます。



▲JF共済連マスコット「まありん」も募金活動に協力してくれました



▲表彰式にて、上原会長と上野事務局長

上原大会会長(JF沖縄漁連会長)より目録を受け取った本会上野事務局長は、「皆さま方のご趣旨に添い、海難遺児の育英事業のために活用させていただきます」と述べ感謝の意を表しました。

大会関係者はじめご協力いただきました多くの皆さまに心よりお礼申し上げます。

豊洲報徳会寄附贈呈式

9月7日(木)、豊洲市場場内の第一水産会議室において、東京中央卸売市場豊洲市場福祉報徳会(会長・田口弘之第一水産会長)様よりご寄附をいただくにあたり、2023年度寄附金贈呈式が行われ、本会内田専務理事が出席しました。

こちらの報徳会は昭和49年に開設され市場で働く方々が会員となり、その善意を色んな団体に寄附活動を展開している民間の善意団体です。

これまでは築地に市場がありましたので、東京築地中央市場福祉報徳会でしたが中央市場移転により2019年度から現在の団体名に変更されております。

贈呈式では田口会長の代理として出席して挨拶された田口耕平第一水産社長は、「引き続き福祉報徳会として困っている方々を少しでも支援できるよう精力的に活動したい」と述べられました。

目録を贈呈された3団体(日本赤十字社東京都支部・江東区社会福祉協議会・漁船海難遺児育英会)を代表し、日本赤十字社東京都支部の矢部事務局長が謝辞を述べ、式終了後は出席者全員で記念撮影を行いました。



2023 ふれあい旅行

千葉県木更津市・東京ディズニーリゾートの旅

7月28日(金)1日目

来賓ご挨拶



JF全漁連
漁政部 三野次長



JF共水連 普及・研修部
内田さん

13:15 結団式〜ふれあいタイム



13:50 東京近郊観光&体験



17:30 夕食

みんなと一緒に食べたバイキングは楽しかったよ〜。



宿泊：龍宮城スノホテル三日月（千葉県木更津市）



18:30 ふれあい交流



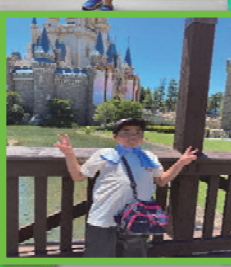
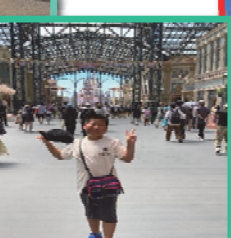
21:00 就寝

おしゃべりか弾みます



7月29日(土)2日目

東京ディズニーリゾート



〔8月〕◎北海道▽北海道信漁連職
賀県▽久米正剛
県▽熊谷佐枝子▽難波慎一郎◎佐
村卓大◎兵庫県▽三木周子◎山口
◎静岡県▽古寺建二◎京都府▽北
▽越智豊子▽黒萩真悟▽森本哲也
正和▽森健▽山下恭助◎神奈川
▽石川和彦▽伊豆丸厚▽井上清和
洗洋代表取締役磯野洋志▽(株)日
パリアフリー▽ターボマシンジヤ
屋信博▽廣野淳▽本川一善▽水田
正和▽森健▽山下恭助◎神奈川
▽石川和彦▽伊豆丸厚▽井上清和
▽越智豊子▽黒萩真悟▽森本哲也
◎静岡県▽古寺建二◎京都府▽北
村卓大◎兵庫県▽三木周子◎山口
県▽熊谷佐枝子▽難波慎一郎◎佐
賀県▽久米正剛

〔6月〕◎北海道▽本間雅彦◎青
森県▽野呂英樹◎山形県▽佐藤明
美◎茨城県▽高瀬美和子▽三次亮
◎埼玉県▽岩山裕史▽内野徹▽小
林哲朗▽中條光子▽西田耕太郎▽
深瀬茂哉▽松本安裕◎千葉県▽石
山新悟▽岩下巧▽内田珠一▽大類
裕久▽新塘博文▽中島健▽中平和
典▽若林満◎東京都▽上野新治▽
岡部典子▽勝野輝美▽(株)洗洋代表
取締役磯野洋志▽(株)日本パリアフ
リー▽ターボマシンジヤ▽パン(株)▽
高田明生▽戸田満弘▽長谷成人▽
廣野淳▽本川一善▽水田正和▽森
健▽山下恭助◎神奈川県▽石川和
彦▽井上清和▽大森敏弘▽越智豊
子▽黒萩真悟▽森本哲也◎静岡県
▽古寺建二◎京都府▽北村卓大◎
大阪府▽道本孝治◎兵庫県▽三木
周子◎山口県▽熊谷佐枝子◎佐賀
県▽久米正剛◎長崎県▽寺島和子

〔7月〕◎北海道▽本間雅彦◎青森
県▽野呂英樹◎山形県▽佐藤明美
◎茨城県▽高瀬美和子▽三次亮◎
埼玉県▽岩山裕史▽内野徹▽金木
愛子▽小林哲朗▽西田耕太郎▽深
瀬茂哉▽松本安裕▽村田奇一◎千
葉県▽石山新悟▽岩下巧▽内田珠
一▽大類裕久▽新塘博文▽中島健
▽中平和典▽若林満◎東京都▽板
谷和久▽岡部典子▽勝野輝美▽(株)
洗洋代表取締役磯野洋志▽(株)日
パリアフリー▽ターボマシンジヤ
パン(株)▽高田明生▽戸田満弘▽長
屋信博▽廣野淳▽本川一善▽水田
正和▽森健▽山下恭助◎神奈川
▽石川和彦▽伊豆丸厚▽井上清和
▽越智豊子▽黒萩真悟▽森本哲也
◎静岡県▽古寺建二◎京都府▽北
村卓大◎兵庫県▽三木周子◎山口
県▽熊谷佐枝子▽難波慎一郎◎佐
賀県▽久米正剛

ご寄附のお礼

2023年6月から8月までに
ご寄附を頂いた皆さまのご芳名
(敬称略)を掲げ、厚くお礼申し
上げます。

励ましおじさん・おばさん



